

# 都 退 教 協 だ よ り

No.326号

2025 年 8 月 20 日 発行

東京都退職教職員協議会 会長 谷口 滋

〒101-0003 千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館 2F 東京教組内

☎:03-5276-1311 FAX:03-5276-1312 Mail:totaikyokyo@tokyokyouso.org

## 第51回総会、今年も全員が発言しました！

7月10日(水)、東京教組会議室で第51回都退教協定期総会が開催されました。

猛暑が続く中、総会参加者は少数でしたが全員が発言でき、活発な討論ができました。

森谷憲光さんに議長を務めていただきました。

来賓の平岡日退教会長は、水岡7月3日に年金1.9%引き上げでは物価高に追いつかない、全世代型の社会保障制度の構築を、水岡勝利でがんばろう挨拶しました。

その後、寄せられたメッセージの紹介がありました。

※メッセージは、この後に掲載しています。

経過報告、名谷会計の決算報告、長谷川会計監査の会計監査報告、谷口会長から活動方針が提案され、質疑討論が行われました。

議長から近況も含めて参加者の発言が求められ、参加者全員から報告、意見がありました。要約して掲載します。

**藤崎** 学校のタブレット使用で子どもが文字をきれいにかけなくなっている。教員の質の低下が心配。

**林** 平和運動センター副議長などで活動している。参政党は危険！

**安藤** 気力、体力の衰えを感じるが、グランドゴルフで鍛えている。

**長谷川** 毎週金曜日文科省前で朝鮮学校の無償化を訴えている。

**川角** 病院通いで十分なお手伝いが出来なくて申し訳ない。

**青木** 谷口から呼びかけがあつて都退教協に加入しました。思いは革新です。

**繭山** ボランティアで日本語を教えています。

**城田** ガザでのジェノサイドなど動かなくてはあると思う。大間原発反対で車で青森まで出かけた。

**小倉** 目教組のお手伝いと五本木小学校の講師をしている。選挙公報が、外国人・高齢者・障がい者切り捨て攻撃であふれている。

**別所** 京都と東京の往復生活。教育の原点は人とのかわり。どういう日本を築くかの観点がない政治になっている。

**土井** 親と子の教育相談室に7,8件の相談が来る。教員が支援学級に行かせたがり、保護者・子どもに寄り添うことがなくなっている。

**名谷** 障がい者と親との交流を40年やってきた。インクルーシブ議連で水岡さんにも活躍してもらっている。





谷口 孫夫婦が二人とも育休を長期に取った。  
3人目の子に障がいがあり、育休制度を築いてきた日教組の長い運動に感謝している。  
森谷 海外に行くにも、次から次へと様々な感染症が流行していて心配している。

## 2025年度第51回都退教協定期総会宣言

本日私たちは、2025年度東京都退職教職員協議会第51回定期総会を開催しました。目を世界に向けると今なお戦乱の被害が多くみられます。イスラエルによるガザ攻撃は、被害者の多くが女性・子どもなど弱者への虐殺が進行しジェノサイドの様相を呈しています。ロシアによるウクライナ軍事侵略も、長期化し両国の戦争犠牲者が増え続けています。また、イスラエルとイランとの戦争が勃発し、世界中至る所で戦争による凄惨な事態が広がっています。

世界に分断と戦火が襲いかかる中、日本被団協がノーベル平和賞を受賞したことは、核廃絶と平和を願う人類の願いの結実でした。それにもかかわらず、世界各地で進行する紛争や危機に直面する状況は深刻さを増しています。国際社会が一致団結して平和を追求していく中、日本は核廃絶への努力をさらに加速させるべきです。国際的な平和への貢献を果たすためには、核兵器禁止条約の批准だけでなく、対話と協力を軸にした外交政策を強化する必要があります。

トランプ大統領は就任半年足らずで、パリ協定離脱など環境問題に背を向け、移民排斥、人権軽視、関税引き上げなど世界から孤立する道を歩み始めています。国内では、昨年、裏金問題を問われた衆議院選挙(10月)の結果、自公政権は少数与党となり、与野党の論戦により「高額医療費の上限引き上げ」が撤回されるなど予算案が戦後初めて修正されました。今年度の年金額はマクロ経済スライドにより0.4%減額され、1.9%引き上げになりました。しかし、物価上昇率2.7%より低く、実質目減りの年金になりました。

昨年の夏以来の米価の高騰はとうとう5kgで5千円を超える小売価格となり庶民にとって米は手の届かない食品になりつつあります。最近になって5kg3000円台の米が出回り市場価格は落ち着いてきたかの様子ですが、これから先秋の新米が出始めるまで予断は許しません。そもそも自民党による農業政策の失敗が招いた出来事です。

ガソリンの高騰など物価上昇により実質賃金は下がり続け(1.2%減、2月)、生活必需品、光熱費の高騰は私たち高齢者、非正規労働者、シングルマザーなど弱者の生活を直撃しています。

アメリカに追随する安倍・菅・岸田政権を石破首相も引き継ぎ、「戦争をする国」づくりに邁進しています。戦争法(2015年)、共謀罪(2017年)、敵地攻撃(安保三文書・2022年)、武器輸出、防衛費増額(GDP2%・43兆円、2023年)、南西諸島へのミサイル配備と日米両軍の統合など枚挙にいとまがありません。「台湾有事」をいたずらに煽り、沖縄を再び戦場にしようとすることは許されません。

今月の参議院選挙で自民党政治を倒し、護憲野党による政権交代を実現し、高齢者が安心して暮らせる社会保障制度実現の闘いを全力で取り組んでいきましょう。

2025年7月9日

東京都退職教職員協議会第51回定期総会

## 総会に寄せられたメッセージ

### 東京都退職教職員協議会第51回定期総会に寄せて

東京都退職教職員協議会第51回定期総会の開催を心からお喜び申し上げます。

昨年10月におこなわれた衆議院議員総選挙では、与党が過半数を大きく割り込みました。これにより国会の雰囲気は一変しています。今年度の予算案は、憲政史上初めて、参議院での修正、衆議院の同意を経ての成立となりました。衆院選のこの流れを参院選へと引き継ぎ、政権交代への布石としていく必要があります。日政連議員のなかまとともに、

これからもがんばってまいります。引き続きみなさんの声をお聞かせください。

東京都退職教職員協議会の今後ますますのご発展、会員のみなさまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。これからもともにがんばりましょう！

2025年7月9日

日政連国会議員団会長  
参議院議員（全国比例）

水岡俊一



### メッセージ



東京都退職教職員協議会 第51回定期総会のご開催にあたり、心よりお祝いを申し上げます。日頃より皆さまの教育・平和・人権を守る熱意あるご活動に心

より敬意を表します。

平素より私 古賀千景 にいただいております、あたたかいご支援とご指導に厚く御礼を申し上げます。

さて、依然としてイスラエルによる凄惨な攻撃が続くパレスチナ自治区ガザの情勢、ロシアによるウクライナ侵攻、中東、中国や北朝鮮の動向等、様々な軍事紛争や、国際情勢の変化に乗じて、日本も防衛費の増額や憲法改悪の動きが続いています。

昨年の衆院選では皆さまから大きなご支援をいただき、あらためまして御礼を申し上げます。この衆院選では自民党が惨敗し、改憲を

目論む勢力の議席数が改憲発議に必要な衆議院の総議員数の3分の2を下回る結果となりました。

この流れを7月20日投票日の参院選につなげ、なんとしても比例代表・みずおか俊一さんの再選を勝ち取るために私も精一杯がんばる決意です。

そして、皆さまがこれまで大切にしてこられました「教え子を再び戦場に送るな！」の不滅のスローガンのもと、子どもたちが戦場に行くことの無い平和な社会、誰もが安心して暮らし希望が持てる社会をつくるために活動を続けてまいります。

本日ご参集の皆さまのご健勝と益々のご活躍、そして、都退教協のさらなるご発展を心から祈念申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

2025年7月9日

参議院議員 古賀ちかげ

## メッセージ

東京都退職教職員協議会第51回定期総会の開催を心よりお慶び申し上げます。

ロシアによるウクライナ侵攻は3年以上経った今でも、戦闘状態が続いており、ウクライナでは多数の死傷者が出ています。また、イスラエルによるガザ侵攻でも多くのパレスチナ人に犠牲者が出ています。さらに、イスラエルはイランに対してミサイル攻撃を行うなど、戦火を拡大させています。こうした状況下で、犠牲となるのは、戦闘員でない女性や子どもです。どのような理由があっても武力で他国を侵略することは許されません。1日も早い停戦が望まれます。

昨年10月には、政治に関して大きな動きがありました。石破内閣が発足しましたが、大幅な軍事増強を行おうとしている点は変わりません。防衛予算は大幅に増額され、武器の輸出をも解禁しようとしています。沖縄の南西諸島では自衛隊の駐屯地が増強されています。軍備を増強すればするほど、他国から攻撃される可能性は実は高くなります。今こそ、「教え子を再び戦場に送るな！」のスローガンのもと、反戦・平和のとりくみを強化していく必要があります。

衆議院議員選挙の結果、自公政権は少数与党に転落しました。しかしながら、一部野党を巻き込んで、憲法「改正」を行おうと目論んでいる点は変わりません。憲法審議会の幹

事に条項の骨子案を提出するなど、動きを強めています。また、「日本人ファースト」を掲げ、憲法を大日本帝国憲法に戻すことを代表が公言する政党が議席を増やす可能性があることが報道されております。こうした動きに対抗するためにはやはり私たちと考えを同じくする議員が増えることが重要です。7月の参議院議員選挙では日政連議員である「みずおか俊一」、また、東京選挙区でも「塩村あやか」「奥村まさよし」の当選を期して、活動を強めていきましょう。そして真に国民の声を反映した政党への政権交代をめざしましょう。

11日に給特法の改正案が成立しました。教職調整額の段階的引き上げや業務削減、定数増に道を開く附則などが盛り込まれましたが、私たちが求めている改善とは程遠いものです。私たちが一番求めているものは長時間労働の是正です。そのため、あくまでも業務削減、教職員定数改善、給特法の廃止・抜本的見直しをもとめて、とりくみを強化していきたいと思います。本日の総会が成功に終わることを祈念し、連帯のあいさつとします。ともに頑張りましょう。

2025年7月9日

東京都公立学校教職員組合  
執行委員長 小田 正道

## 東京都退職教職員協議会総会へのメッセージ

都退教協第51回定期総会開催おめでとうございます。日頃のご活躍に敬意を表します。

世界では、ウクライナへのロシアの侵略は3年4か月続いています。トランプ大統領は「戦争を1日で終わらせる」と言いましたが失敗しました。ガザに対するイスラエルのジェノサイドは、すでに2年近く続いています。イスラエルはガザへの食料補給を禁じ、

アメリカとイスラエルが主導する食料補給に集まった人々にイスラエル軍が発砲して、何百人も殺しています。イスラエルとアメリカは、イランへの軍事攻撃も行いました。これらの戦争を一日も早く終わらせなければなりません。

トランプ大統領はアメリカと世界を混乱に陥れています。アメリカファーストの名のもとに関税を吊り上げ、国内でも多様性や言論

の自由を否定し、移民を迫害し、独裁的な政治を行っています。

日本では、政治家が台湾有事をあおる中、自衛隊は完全にアメリカの指揮権のもとに入っています。アメリカのヘグセス国防長官は、「西太平洋で有事が起きたら、自衛隊は最前線に立つ」と言いました。自衛隊がアメリカの肩代わりをして戦う。そんなことを許すことはできません。沖縄を戦場にしてはならず、絶対に、有事＝戦争を起こしてはなりません。

さらにトランプ大統領はNATOに軍事費5%を要求し、日本にも要求してくるとみられています。現在日本の防衛費は既に1.8%に達し、社会保障をはじめ、国民の生活に多くのしわ寄せが来ています。アメリカの言いなりになることはできません。

自民党の裏金問題は厳しく批判され、去年の総選挙で自公は過半数を割りました。しかし、石破政権はいろいろな野党と問題別に協議して予算や法案を通してきました。一方、選択的夫婦別姓法案や、野党5党と自民党が出した企業団体献金に関する法案は、継続審議となってしまいました。

沖縄では米軍兵士による性暴力が続いています。6月、那覇地方裁判所は昨年5月の性的暴行に問われたアメリカ海兵隊の上等兵に

懲役7年の画期的な判決を出しました。控訴審での逆転を許さず、性暴力をはじめとする米兵の犯罪をきちんと償わせ、今後の防止につなげることが重要です。日米地位協定の改訂は必須です。

そして沖縄だけでなく日本全体でも、フジテレビの例にみられるように多くの性暴力が放置・隠ぺいされてきたことが明らかになっています。女性の人権が守られるよう、一層の取り組みが必要です。

2025年度の世界ジェンダー格差指数では、日本は148か国中118位と相変わらずの低迷ぶりです。政府はまず選択的夫婦別姓や同性婚を実現し、女性差別を禁止する法律を作り、ジェンダー平等を実現するための根本的な対策を立てるべきです。

またクルド人差別など様々な差別をなくすために、包括的差別禁止法が必要です。

7月20日に迫った参議院選挙では、水岡俊一さんをはじめとする候補者の当選を勝ちとり、参議院においても与党を過半数割れさせ、政権交代を実現しましょう。

貴総会のご成功を祈り、メッセージいたします。

2025年7月9日

東京都退職女性教職員の会（東京退女教）

会長 朝倉 泰子

## 連帯メッセージ

都退教協の皆様には、年金・医療・介護をはじめとした社会保障制度改善や、反戦・平和・護憲をはじめとする課題、教育・人権・環境をはじめとする課題など、日頃の取り組みに心から敬意を表します。

ウクライナやガザ、そして、アメリカによるイランへの爆撃など、世界的にも軍事的な緊張が一段と強まり、一方で、トランプ関税など世界的な経済の混乱が進行しています。まさに、戦後の世界体制が大きく動揺しつつあります。

国内においては、少子化問題、物価高騰対策、賃上げ、社会保障、トランプ関税問題など多くの課題が山積みとなっていますが、石破政権の下では、有効な解決策が示されないままです。

世界的にも、国内的にも困難な状況の中ではありますが、私たち東水退は、年金医療介護をはじめとする社会保障制度の充実に向けた取り組み、反戦・平和・人権などの闘い、反核・反原発をはじめとする環境課題の取り組み、そして参議院選挙の勝利に向けて、東京

都退職教職員協議会の皆さんに連帯し共に闘い抜いていきます。  
総会の成功と貴組織のますますのご発展を祈念し、連帯のメッセージとさせていただきます。

東京都水道局下水道局退職者会

会長 池田政一

## 日退教第 51 回定期総会に参加して

藤崎喜仁

6月6日日本教育会館で日退教第51回定期総会が開催された。出席者は北海道から沖縄まで全国から結集した代議員85名に役員・来賓含めて総勢110名以上だった。

### 《会長あいさつ》

竹田邦明日退教会長から、差し迫った課題として7月に実施される参議院選挙に勝利すること。日政連議員水岡俊一に、期日前投票の依頼と家族や知り合いにも広げること。今年は戦後80年・沖縄返還53年目の節目になる。沖縄では米軍による女性への暴行事件や事故が絶えず、県民の怒りと不安は限界に達している。また、自民党西田昌司議員の発言は、沖縄「ひめゆりの塔」の事実を歪曲し歴史を改ざんする行為であり、県民の記憶と尊厳を踏みにじるものと訴えました。

その後、日教組委員長をはじめ来賓あいさつのあと、24年度の経過報告と25.26年度の活動方針が提案されて昼食・休憩となりました。

### 《各県からの意見討論》

午後からは活動方針案について、およそ20単会から質疑や意見が出されました。

#### ① 反戦・平和の取り組み

反戦・平和に関しては、北海道からは日高で自衛隊による地対空ミサイル実射訓練反対の取り組みと寿都町・神恵内村の「核のゴミ処分場」交付金の件について報告。

広島からは、被ばく80年がたち年々被爆者が亡くなり、被ばく体験伝承活動が2世に移っていること。海外から訪れる人や子ども達にガイドなど活動を工夫している。

被団協のノーベル平和賞受賞に伴い、被ばく認定されていない方々の国家賠償請求を求めているが



棄却されていることが報告されました。あらたな動きとして、天皇・皇后が6/19原爆慰霊碑と原爆資料館の訪問に際し、商工会議所(日本会議系)が「天皇皇后陛下 提灯奉迎の集い」をゲートパーク(旧広島市民球場)で実施することに抗議文を出す云う。

沖縄からは、辺野古基地建設の軟弱地盤工事に巨額な税金が投入されていること、宮古島に自衛隊ミサイル基地や弾薬庫建設が実施されたこと。沖縄本島だけでなく鹿児島奄美大島や石垣島・与那国島など、西南諸島のミサイル基地化は進行しており、戦争に向かってまっしぐらに進んでいる危険な状況にあることが報告されました。

神奈川からは、リニア新幹線建設について地下40m以上の地下空間は、地上の地権者の交渉なしに利用できる「大深度地下法」という法律がある。東京・神奈川・愛知・岐阜ではシールドマシンで掘削が行われているが、地盤沈下や地下水位の低下など重大な問題が起きている。原発推進政策と同じで、今後の推移を見守っていきたいと報告。

埼玉からは狭山事件に関し、えん罪被害者に対する再審法改正の署名の取り組み

新潟からは柏崎刈羽原発の再稼働反対の署名が14万3千集まったことの報告された

#### ② 組織拡大について

組織拡大では秋田・新潟・滋賀・千葉・高知・宮崎などから報告があった。

定年延長後の雇用形態の違いもあり、退職者が直ぐに加入しない現状がある。会員の平均年齢が 80 才以上で活動が停滞している。組織の維持が困難で従来の運動では限界がある。高齢者はバラバラで孤立しており、いろんな繋がりを持つことが必要。活動をすればお金がかかり、署名やカンパは難しい。一つの支部で内向きの活動をしては広がらない。ニュースを手配りで会員に会って話していたが、高齢化で配布も無理で郵送にしたが関りが無くなった。地域では自治会長や民生委員・保護司など退職した人が関わっている。地域と結びつくことは大事ではないか等々、高齢化と会員の減少や活動の停滞化や今後の展望など様々な問題が提起された。

### ③ 日退教 4 部会の活動についての紹介

日退教は「広報部会」「福祉部会」「組織部会」「ジェンダー平等部会」の 4 部会を設置している。広報は定期総会の各種学習会の記録や日退教だよりの発行。福祉は医療・介護・年金等の学習会の実施。組織は組織拡大と福島・沖縄の学习交流の実施と日退教組織活動交流集会の実施。ジェンダー平等は組織の女性役員増の提言や女性差別撤廃やジェンダー平等に関する学習会の実施を行ってきた。

### ④ 日退教組織活動交流集会で思ったこと

毎年 10 月に実施されている「日退教組織活動交流集会」で司会をしてきたが、元校長が行政の政策と連携した「社会貢献活動」の報告があった。また地域の「文化サークル団体の運営」に日退教組合員

が中心的に関わっている報告などもあった。平和教育の取り組みや教科書採択の取り組みなどの実践報告も多々あったが、「旅行や忘年会」を初めて実施して交流が出来たと言う報告もあった。旅行や忘年会が日退教の活動なの？とその時は違和感もあった。近年では、自治会長になった会員が「イージスアショア」配備反対の自治会決議や抗議声明を挙げて阻止した報告もあり、こんな凄い実践をしているのかと云う驚きもあった。

### ⑤ 活動の場は地域社会にある

その時思ったことは、「退職した組合員の活動の姿」の多様性が浮かんできた。日教組組合員のときは職場が活動の場だった。退職しても体力・気力が充実していると働くことも出来る様々な活動や闘争にも参加できる。しかし、病気や家族の介護などであると、誰もが現職と同様な活動は出来ない。学校に代わって家庭や地域が職場のようになっていく。かつて日教組組合員だった個々人が、地域社会の中でどのように生きていくのか、それぞれの生き方は同じではない。歳月や時間は誰にも平等にあるが、個々に残された歳月や時間には限りがある。

だからこそ、教師として日教組組合員として培った経験値の広さや深さは、地域社会の中に還元されるべきと思う。「今、出来ること」「まだ出来ること」は何か、そこに生きがいを見つけ身体や頭を使って人と関わり一歩でも動くことが大切と思う。そこに日退教運動の原点があるような気がする。

## 会費を振り込んでくださった方々 ありがとうございます (敬称略)

原竹茂雄、山本静子、小林清美、中野朱美、木谷恭子、平林麻美、安藤隆、藤崎みどり、藤崎喜仁、菅原修、森谷憲光、土井彰、長谷川和男、小倉武、川角恒、柴田廸春、柴田悦、林健、谷口滋、名谷和子、木下裕一、木下美佐子、永野貞子、青木幹夫、伊藤光隆、佐久間妙子、高山玲子、

## カンパくださった方々 ありがとうございます

原竹茂雄、山本静子、小林清美、中野朱美、藤崎みどり、藤崎喜仁、森谷憲光、土井彰、長谷川和男、小倉武、川角恒、柴田廸春、柴田悦、永野貞子、青木幹夫、川崎順子、佐久間妙子、

## ひとこと

中野朱美 たよりの中に新卒でお世話になった方の名前を見つけました。いっしょにがんばりたいです。

永野貞子 都退教協に加入いたします。よろしく願いいたします。

青木幹夫 都退教協に加入いたします。大田教組出身です。

川崎順子 せっかくお声をかけていただいたのですが腰が悪く体力的にもちょっと無理なのでカンパだけさせていただきます。

伊藤光隆 都退教協に入会します。

佐久間妙子 すみません、加入しているつもりでした。

木下裕一 参議院選の結果をふまえ、自公政権打倒、参政党などの右傾化政策阻止のために全力で取り組みましょう。

## 多文化共生のまち新大久保を歩く・秋の交流会・

日時：2025年10月22日(水) 14:00

場所：東新宿A2出口集合

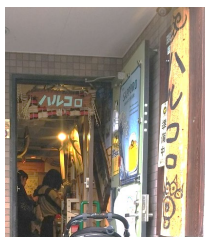
案内：深澤裕さん

コース：①高麗博物館

②大久保小学校

③ABC 保育園

④大久保通り商店街



⑤ロッテガム工場跡地

⑥ イスラムエリア・ハラル料理屋・モスク

⑦ ハルコロ（アイヌ料理店で夕食）

申し込み・問い合わせは谷口まで

Mail:extani@gmail.com

Tel:090-5202-011

### 編集後記

- 参議院選挙で水岡俊一さん、都議会議員選挙で品川のひがしゆきさん、新宿の三雲崇正さんが当選しました。差別と分断をあおる参政党などが勢いをますなか、是非国会、都議会で頑張ってもらいたいと思います。
- 参議院選挙にあたり排外主義の煽動に反対するNGO緊急共同声明に都退教協として賛同署名しました。ヘイトスピーチ、とりわけ排外主義の煽動は、外国人・外国ルーツの人々を苦しめ、異なる国籍・民族間の対立を煽り、共生社会を破壊し、さらには戦争への地ならしとなる極めて危険なものです。政府・自治体に対し選挙運動におけるヘイトスピーチが許されないことを徹底して広報することを強く求め、有権者には、外国人への偏見の煽動に乗せられることなく、国籍、民族に関わらず、誰もが人間としての尊厳が尊重され、差別されず、平和に生きる共生社会をつくるよう共に声をあげ、また、一票を投じられるよう訴えまた声明です。
- 9月1日(月)13:30から「関東大震災朝鮮人虐殺102年東京同胞追悼会」が横綱公園で開催されます。平和フォーラムとともに都退教協も参加します。
- 敗戦、被爆80年、「核兵器をなくせ！被爆者の声を引き継ぐ若者たち」をテーマに「人権の21世紀をつくる文化の集い」が、10月17日(金)18:30大井町きゅりあん小ホールで開催されます。
- 秋の交流会には、生きがい支援協会の助成金が出ます。ふるってご参加ください。(谷口記)

### 人権の21世紀をつくる文化の集い 2025

#### 核兵器をなくせ！

被爆者の声を引き継ぐ若者たち



おはなし：和田征子さん



高垣慶太さん

・日本被団協事務局次長。長崎の自宅で被爆(1歳10か月)。

・核兵器禁止条約締約国会議1~3回に参加、発言。広島生まれ。

10月17日(金) 18:00 開場  
18:30 開演

きゅりあん小ホール

大井町駅東口駅前・きゅりあん1階 全席自由/1000円 手話通訳あり

主催 「人権の21世紀をつくる文化の集い」実行委員会 TEL 03-3762-7176 後援 大田区、品川区、港区、目黒区

